

令和8年度青森支部事業計画及び青森支部保険者 機能強化予算の策定に向けた意見聴取について

1. 令和8年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定

本部方針

- 「現状評価・課題・重点施策シート」の作成を通じて得られた自支部の課題等を提示し、当該課題の解決に向けた事業展開について幅広く意見を求める等、自支部の事業計画案及び保険者機能強化予算案の策定をはじめとした戦略的保険者機能の更なる発揮に向けた議論の活性化を図る。

2. 支部事業計画・予算策定に関するスケジュール

スケジュール

- 10月24日 評議会へ事業計画・支部保険者機能強化予算の事前意見聴取
- 11月上旬 支部事業計画・KPI・支部保険者機能強化予算の策定開始
- 12月下旬 支部事業計画・KPI・支部保険者機能強化予算案を本部へ申請

3. 令和8年度 戦略的保険者機能に関する現状評価シート（青森支部）

＜「現状評価シート」の使用目的＞

自支部の課題を抽出するため、適用情報、医療費情報及び健診情報の観点から、自支部の現状を整理、評価する際に活用いただくためのシートです。

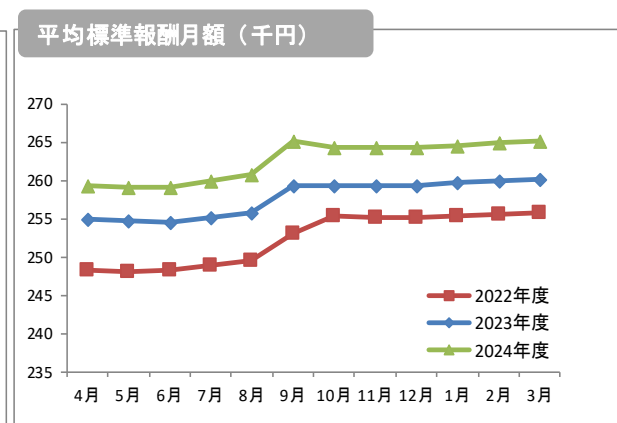
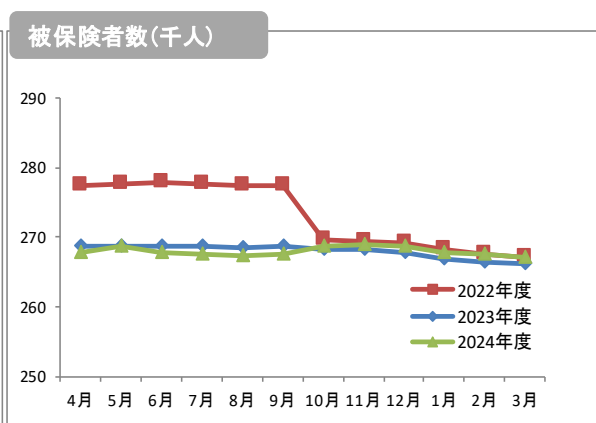
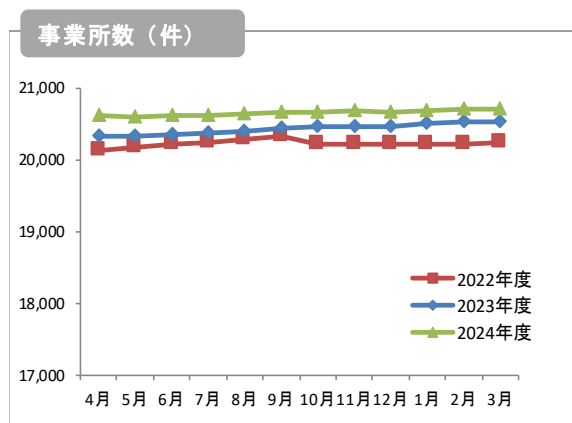
＜「現状評価シート」で出来ること＞

- 自支部の適用情報、医療費情報及び健診情報の主要項目の過去3か年分の時系列データを表形式で見ることができます。
- 医療費情報（1人当たり医療費、受診率、疾病分類別1人当たり医療費、業態別1人当たり医療費）及び健診情報（健診結果、問診結果）について、全国平均と比較した場合の自支部の地域差指数－1（※）を、表形式及びグラフ形式で視覚的に捉えることができます。
- 1人当たり医療費及び受診率、健診結果及び問診結果については、全国平均と比較した場合の自支部の市区町村別地域差指数－1（※）の高低を見ることができます。

（※）地域差指数－1とは、医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について、年齢調整し、全国平均を0として指数化したものであり、0より大きい数値であれば、全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば、全国平均より低い水準にあることを示しています。

(1) 適用情報

年度	事業所数	加入者数	被保険者数	被扶養者数	平均標準報酬月額
2022	20,236	416,999	267,171	149,828	255,675
2023	20,533	409,397	266,120	143,277	260,048
2024	20,712	403,563	267,186	136,377	265,077



(2) 医療費情報

2-1. 医療費3要素(診療種別)

<総計(入院・入院外・歯科)>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2022	206,126.9	195,119.1	8,320.6	8,064.9	1.51	16,434.4
2023	214,434.5	202,365.2	8,650.2	8,390.6	1.50	16,539.3
2024	217,500.2	204,221.4	8,691.3	8,398.6	1.49	16,809.5

<入院>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2022	56,057.0	52,352.0	94.0	89.7	10.20	58,517.0
2023	57,838.0	53,551.0	95.6	90.6	10.20	59,433.0
2024	61,105.0	56,218.0	97.9	92.5	10.30	60,652.0

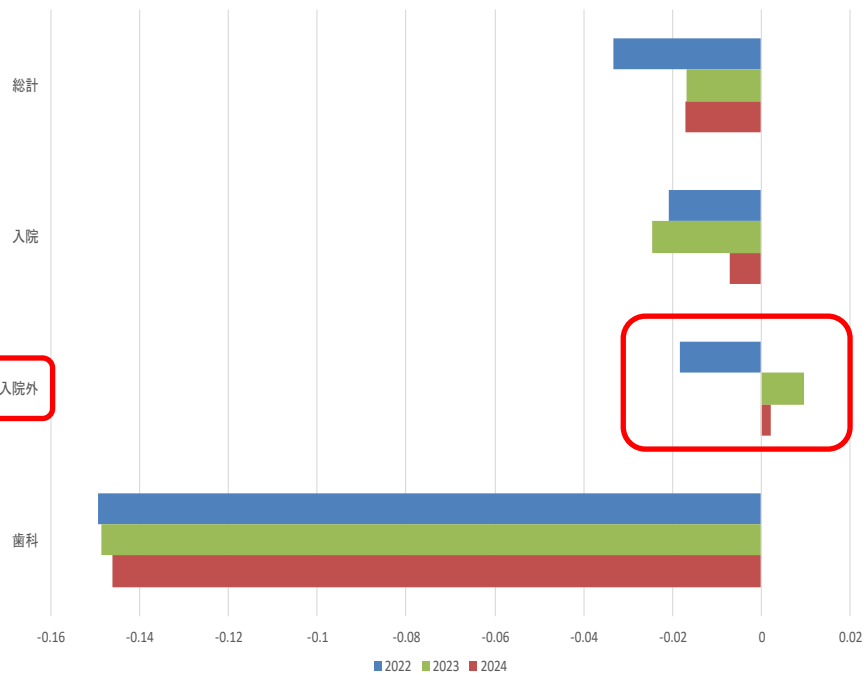
<入院外>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2022	130,496.0	123,797.0	6,778.0	6,555.7	1.40	14,254.0
2023	136,774.0	129,629.0	7,077.9	6,857.0	1.40	14,285.0
2024	135,674.0	127,972.0	7,048.0	6,798.9	1.30	14,319.0

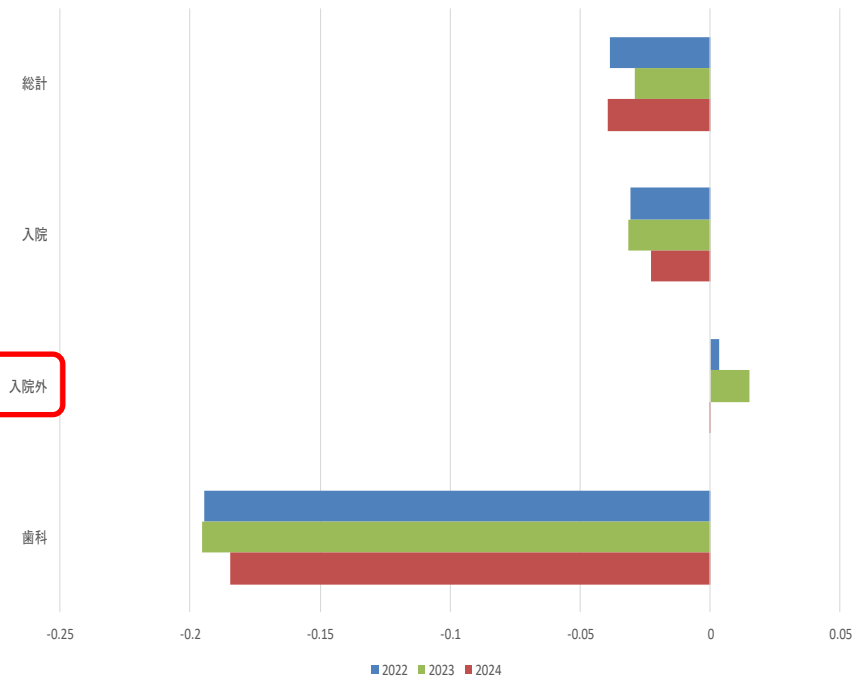
<歯科>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2022	19,574.0	18,970.0	1,448.6	1,419.5	1.70	8,057.0
2023	19,822.0	19,186.0	1,476.7	1,443.0	1.60	8,199.0
2024	20,722.0	20,031.0	1,545.4	1,507.3	1.60	8,435.0

1人当たり医療費の地域差指数-1



受診率の地域差指数-1



2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(疾病分類が不明なものを除く。)

※赤字表記: 年度ごとの地域差指数が高い上位3疾病

<入院>

年度	I 感染症及び寄生虫	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2022	▲ 0.003	0.049	▲ 0.002	▲ 0.004	▲ 0.004	0.002	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.021	▲ 0.010
2023	▲ 0.004	0.039	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.002	0.006	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.013	▲ 0.009
2024	▲ 0.004	0.042	0.001	▲ 0.002	0.004	0.003	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.004	▲ 0.014

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
2022	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.005	▲ 0.007	0.006	▲ 0.001	0.000	▲ 0.002	▲ 0.007	▲ 0.004
2023	▲ 0.004	▲ 0.002	▲ 0.004	▲ 0.005	0.002	▲ 0.007	0.000	▲ 0.001	▲ 0.010	▲ 0.002
2024	▲ 0.007	▲ 0.002	▲ 0.005	▲ 0.003	0.002	▲ 0.001	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.009	▲ 0.001

<入院外>

年度	I 感染症及び寄生虫	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳様突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2022	▲ 0.005	0.016	0.005	0.002	▲ 0.002	▲ 0.002	▲ 0.010	▲ 0.002	0.020	▲ 0.006
2023	▲ 0.005	0.022	0.007	0.001	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.009	▲ 0.001	0.019	0.003
2024	▲ 0.005	0.023	0.004	0.002	▲ 0.002	▲ 0.002	▲ 0.009	▲ 0.002	0.018	▲ 0.003

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X X 特殊目的コード
2022	▲ 0.003	▲ 0.009	0.005	▲ 0.005	0.001	0.000	▲ 0.000	▲ 0.003	▲ 0.004	▲ 0.017
2023	▲ 0.003	▲ 0.010	0.005	▲ 0.005	0.000	0.001	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.004	▲ 0.006
2024	▲ 0.003	▲ 0.010	0.005	▲ 0.005	0.000	0.001	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.004	▲ 0.002

※1 地域差指数は年齢調整後のものである。

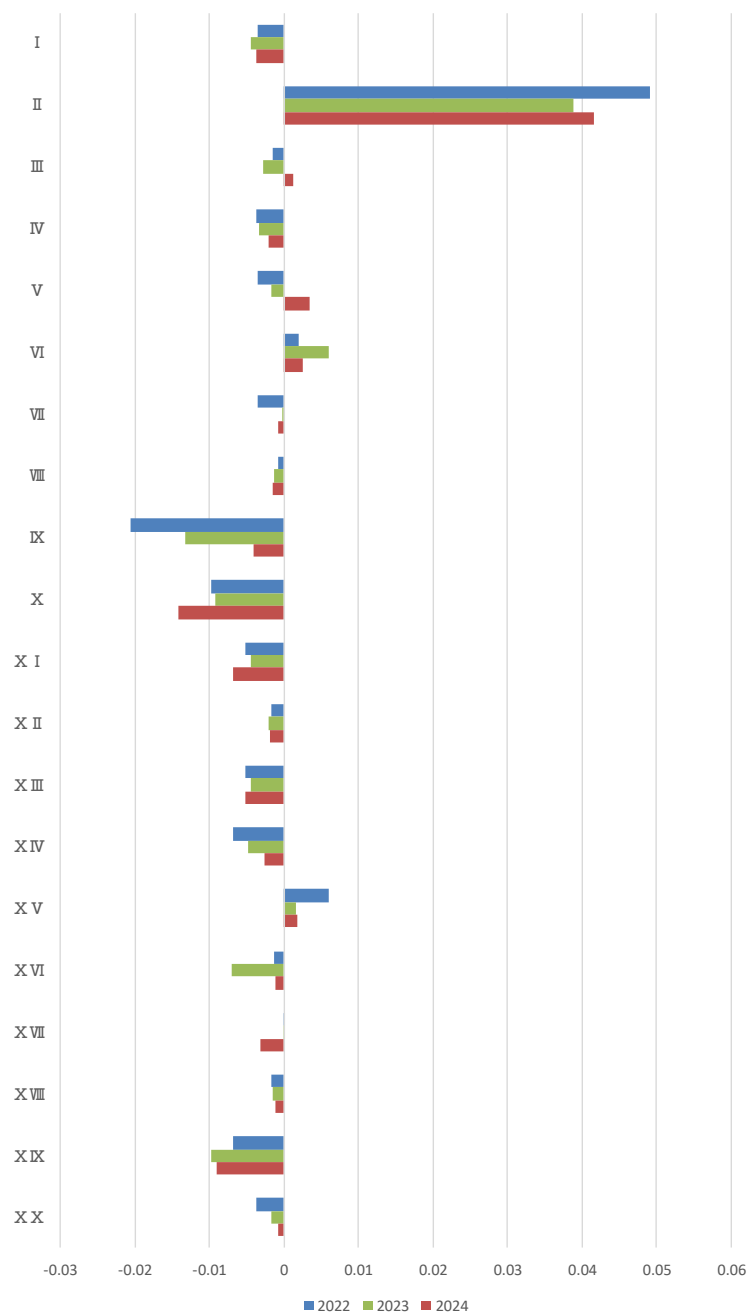
※2 疾病が不明のものは掲載していないため、各疾病の地域差指数-1の寄与度の合計は診療種別(入院・入院外)の1人当たり医療費の地域差指数-1に一致しない場合がある。

2-3. 診療時間外受診の加入者1人当たり算定回数の地域差指数-1

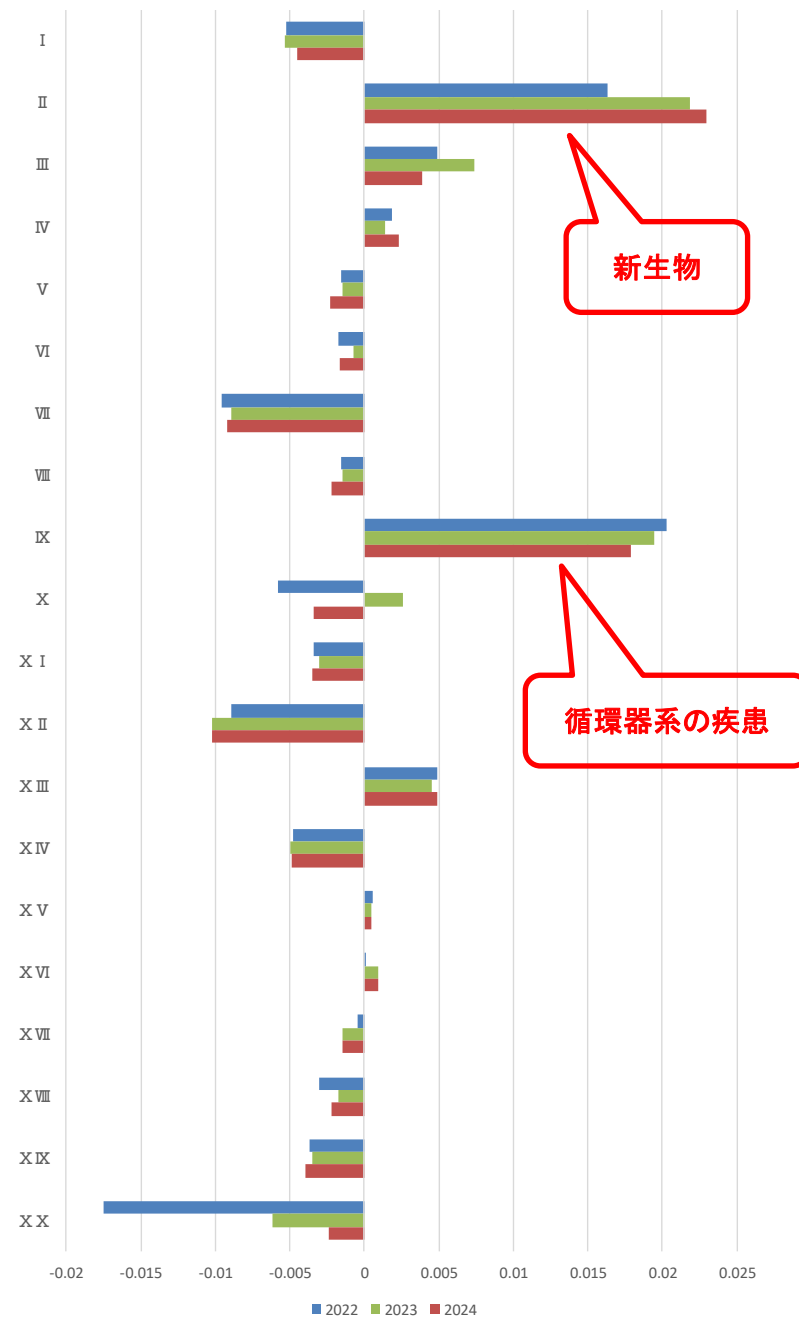
年度	初診	再診
2022	▲ 0.373	▲ 0.550
2023	▲ 0.392	▲ 0.543
2024	▲ 0.454	▲ 0.581

※ 地域差指数は年齢調整後のものである。

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数－1の寄与度(入院)



疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数－1の寄与度(入院外)



2-4. 業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度

※赤字表記：年度ごとの地域差指数が高い上位3業態

<入院>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
2022	0.007	▲ 0.000	0.034	0.004	0.001	0.010	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.003
2023	0.011	0.001	0.041	0.000	0.002	0.010	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.003
2024	0.007	▲ 0.001	0.038	0.001	0.000	0.009	0.001	▲ 0.002	0.000	0.000

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2022	▲ 0.011	▲ 0.012	▲ 0.016	▲ 0.005	0.001	▲ 0.008	0.005	▲ 0.007	▲ 0.008	0.017
2023	▲ 0.011	▲ 0.013	▲ 0.020	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.008	▲ 0.003	▲ 0.006	▲ 0.011	0.016
2024	▲ 0.011	▲ 0.012	▲ 0.018	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.009	0.007	▲ 0.006	▲ 0.002	0.018

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2022	0.008	▲ 0.002	▲ 0.002	▲ 0.020	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.017	▲ 0.012	▲ 0.001	▲ 0.001
2023	0.006	▲ 0.003	0.000	▲ 0.017	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.015	▲ 0.014	▲ 0.000	0.001
2024	0.005	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.020	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.016	▲ 0.010	▲ 0.001	▲ 0.003

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2022	▲ 0.004	▲ 0.005	0.010	0.046	0.008	▲ 0.026	▲ 0.013	0.005	0.003	▲ 0.003
2023	▲ 0.004	▲ 0.004	0.002	0.052	0.006	▲ 0.028	▲ 0.015	0.007	0.004	▲ 0.002
2024	▲ 0.003	▲ 0.004	0.003	0.050	0.011	▲ 0.031	▲ 0.013	0.002	0.002	▲ 0.001

年度	41その他のサービス業	42公務
2022	▲ 0.009	▲ 0.003
2023	▲ 0.011	0.000
2024	▲ 0.010	▲ 0.000



飲食料品以外の小売業

総合工事業

社会保険・社会福祉・介護事業

※色付表示: 年度ごとにおいて地域差指数が高い上位3業態

<入院外>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
2022	0.010	0.000	0.038	0.006	0.002	0.011	0.000	▲ 0.002	▲ 0.000	▲ 0.003
2023	0.010	0.000	0.037	0.005	0.005	0.011	0.001	▲ 0.002	0.000	▲ 0.003
2024	0.010	0.001	0.032	0.005	0.006	0.012	0.001	▲ 0.002	0.000	▲ 0.003

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2022	▲ 0.011	▲ 0.011	▲ 0.017	▲ 0.005	▲ 0.001	▲ 0.011	0.004	▲ 0.004	▲ 0.002	0.020
2023	▲ 0.012	▲ 0.011	▲ 0.017	▲ 0.006	▲ 0.001	▲ 0.011	0.005	▲ 0.002	▲ 0.003	0.023
2024	▲ 0.011	▲ 0.010	▲ 0.017	▲ 0.005	▲ 0.001	▲ 0.011	0.003	▲ 0.003	▲ 0.001	0.024

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2022	0.013	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.018	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.018	▲ 0.012	0.001	▲ 0.001
2023	0.013	▲ 0.003	▲ 0.000	▲ 0.018	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.020	▲ 0.012	0.000	▲ 0.002
2024	0.014	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.019	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.021	▲ 0.012	0.001	▲ 0.003

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2022	▲ 0.003	▲ 0.006	0.013	0.041	0.010	▲ 0.034	▲ 0.011	0.005	0.002	0.002
2023	▲ 0.004	▲ 0.006	0.016	0.049	0.011	▲ 0.037	▲ 0.012	0.005	0.002	0.002
2024	▲ 0.004	▲ 0.006	0.013	0.052	0.012	▲ 0.038	▲ 0.009	0.004	0.001	0.002

年度	41その他のサービス業	42公務
2022	▲ 0.010	▲ 0.002
2023	▲ 0.010	▲ 0.000
2024	▲ 0.010	▲ 0.000

※1 被保険者のみを集計対象としている。

※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

※3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数－1の寄与度の合計は診療種別(入院・入院外)の被保険者1人当たり医療費の地域差指数－1に一致しない場合がある。

業種別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院外)



飲食料品以外の小売業

総合工事業

社会保険・社会福祉・介護事業

(3) 健診情報

3-1. 健診受診率等

年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診データ取得率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勧奨後3月以内受診率	コラボヘルス宣言事業所数
2022	58.1%	12.7%	28.2%	21.6%	14.5%	1,847
2023	57.9%	11.8%	28.1%	28.2%	15.0%	1,868
2024	58.2%	12.4%	29.2%	28.3%	8.7%	1,979

3-2. 健診結果及び問診結果

※赤字表記: 年度ごとの地域差指数が高い上位3割合

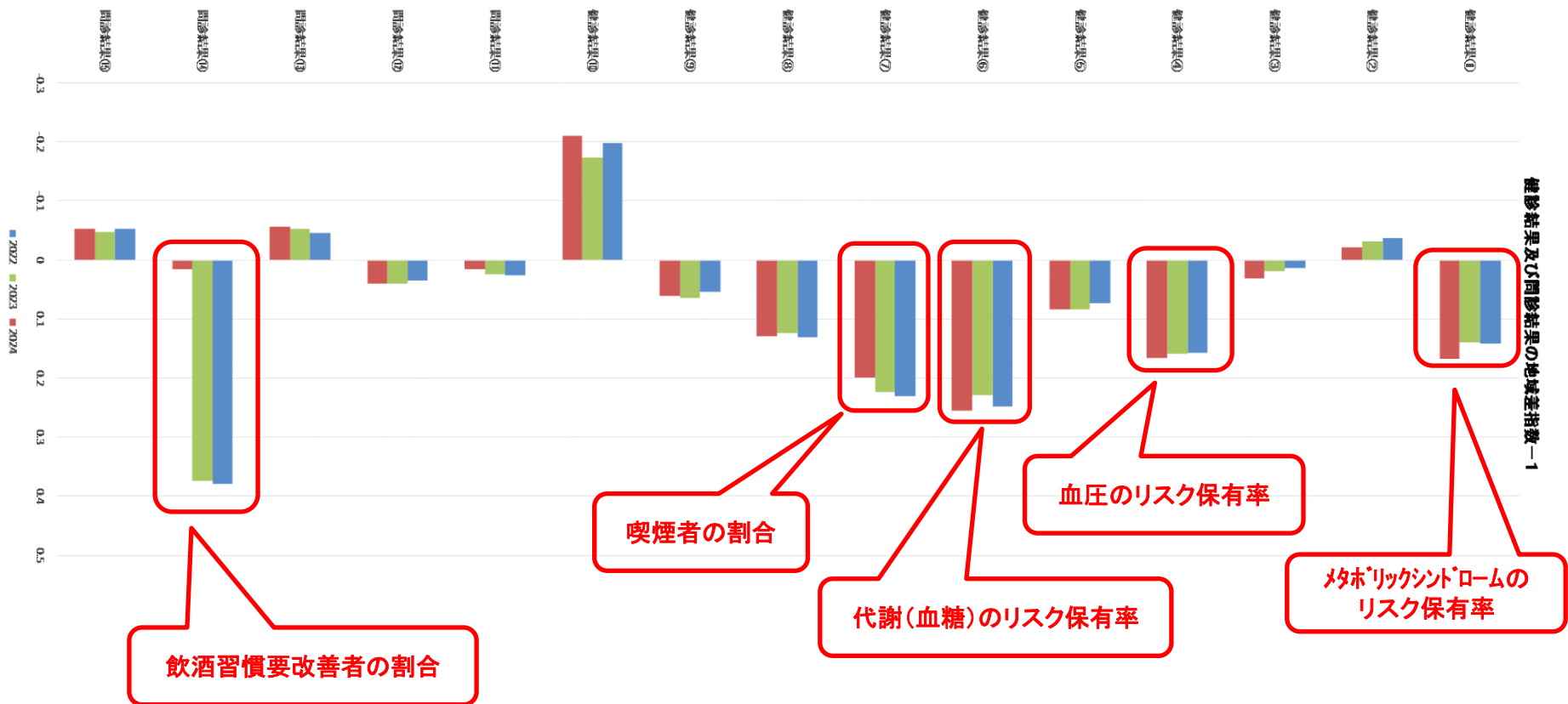
年度	①メタボリックシンドロームのリスク保有率		②メタボリックリスク予備群の割合		③腹囲のリスク保有率		④血圧のリスク保有率		⑤脂質のリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2022	17.9%	0.141	12.2%	▲ 0.037	35.5%	0.013	53.2%	0.158	30.8%	0.074
2023	18.1%	0.140	12.3%	▲ 0.031	35.8%	0.018	53.6%	0.159	31.2%	0.083
2024	18.8%	0.168	12.6%	▲ 0.021	36.8%	0.032	54.2%	0.165	31.3%	0.084

年度	⑥代謝のリスク保有率		⑦喫煙者の割合		⑧BMIのリスク保有率		⑨中性脂肪のリスク保有率		⑩HDLコレステロールのリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2022	19.5%	0.248	34.1%	0.230	35.1%	0.130	20.1%	0.053	3.3%	▲ 0.198
2023	19.2%	0.228	34.0%	0.223	35.1%	0.123	20.2%	0.064	3.4%	▲ 0.173
2024	19.6%	0.256	32.9%	0.199	36.1%	0.128	19.7%	0.062	3.2%	▲ 0.209

年度	⑪体重10kg以上増加者の割合		⑫運動習慣要改善者の割合		⑬食事習慣要改善者の割合		⑭飲酒習慣要改善者の割合		⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2022	42.1%	0.027	70.3%	0.035	49.8%	▲ 0.045	16.8%	0.379	35.3%	▲ 0.053
2023	42.3%	0.024	69.8%	0.041	49.9%	▲ 0.052	16.9%	0.375	36.7%	▲ 0.048
2024	42.9%	0.016	68.5%	0.040	49.9%	▲ 0.057	14.0%	0.015	37.1%	▲ 0.052

※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※2 地域差指数は年齢調整後のものである。



3-3. 業態別血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数-1の寄与度

※赤字表記：年度ごとの地域差指数が高い上位3業態

<血圧のリスク保有率>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2022	0.013	0.001	0.064	0.013	0.012	0.018	0.002	▲ 0.002	0.001	▲ 0.002
2023	0.012	0.000	0.064	0.014	0.013	0.018	0.001	▲ 0.002	0.002	▲ 0.002
2024	0.013	0.001	0.063	0.013	0.013	0.019	0.002	▲ 0.003	0.001	▲ 0.002

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2022	▲ 0.014	▲ 0.011	▲ 0.017	▲ 0.005	▲ 0.001	▲ 0.004	0.012	▲ 0.004	0.003	0.033
2023	▲ 0.015	▲ 0.010	▲ 0.019	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.006	0.008	▲ 0.002	0.005	0.035
2024	▲ 0.014	▲ 0.011	▲ 0.019	▲ 0.005	▲ 0.001	▲ 0.005	0.008	▲ 0.003	0.006	0.036

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2022	0.026	▲ 0.002	▲ 0.002	▲ 0.009	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.008	▲ 0.008	0.003	0.002
2023	0.025	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.009	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.009	▲ 0.008	0.003	0.002
2024	0.027	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.009	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.009	▲ 0.008	0.003	0.001

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2022	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.000	0.048	0.018	▲ 0.019	▲ 0.002	0.008	0.004	0.002
2023	▲ 0.004	▲ 0.003	▲ 0.002	0.048	0.022	▲ 0.023	▲ 0.004	0.008	0.004	0.003
2024	▲ 0.004	▲ 0.003	▲ 0.002	0.052	0.022	▲ 0.025	0.000	0.007	0.005	0.003

年度	41その他のサービス業	42公務
2022	▲ 0.008	▲ 0.005
2023	▲ 0.009	▲ 0.000
2024	▲ 0.008	▲ 0.000



※赤字表記: 年度ごとの地域差指数が高い上位3業態

<脂質のリスク保有率>

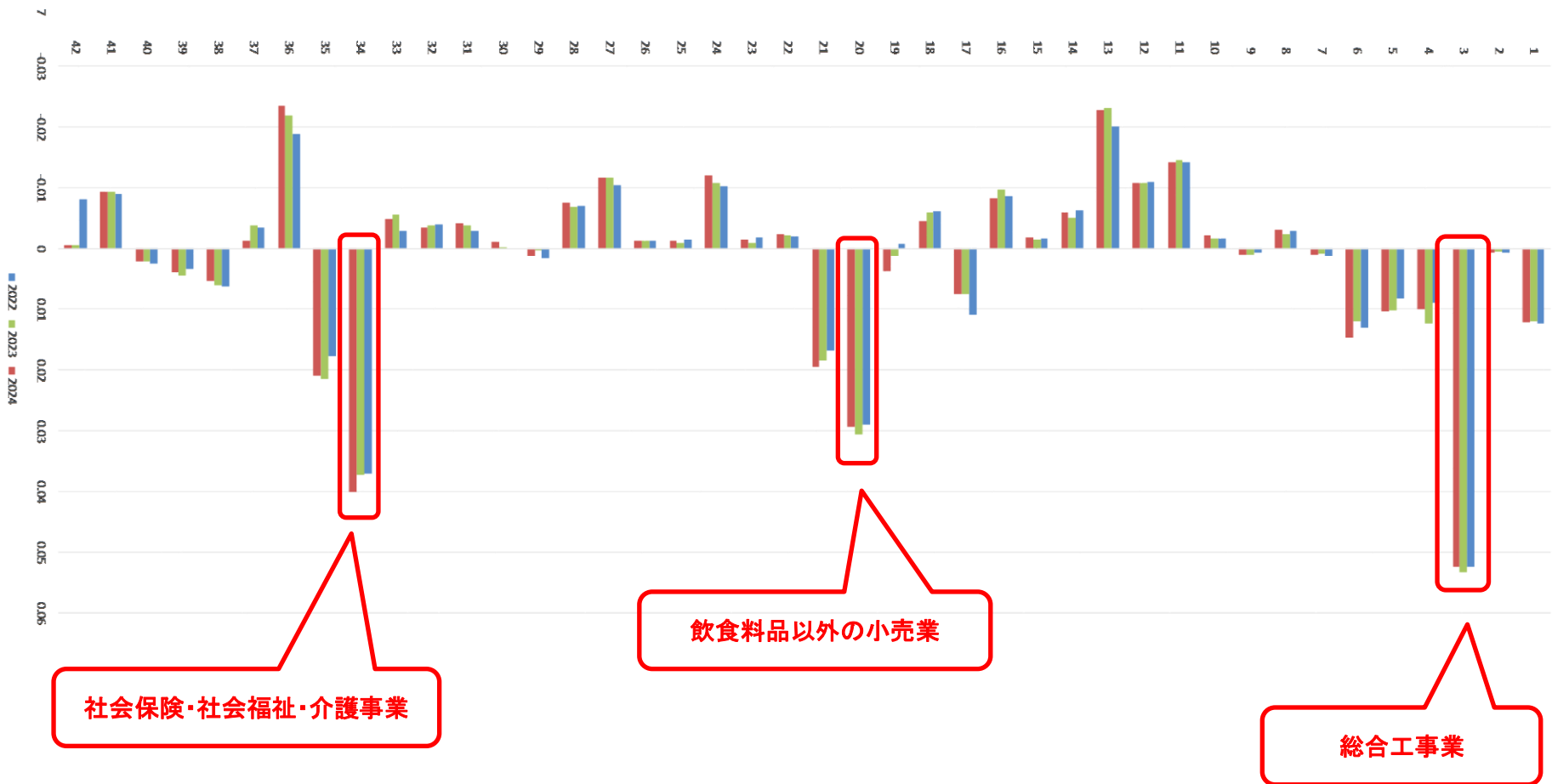
年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2022	0.012	0.001	0.052	0.009	0.008	0.013	0.001	▲ 0.003	0.001	▲ 0.002
2023	0.012	0.001	0.053	0.012	0.010	0.012	0.001	▲ 0.002	0.001	▲ 0.002
2024	0.012	0.001	0.052	0.010	0.010	0.015	0.001	▲ 0.003	0.001	▲ 0.002

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2022	▲ 0.014	▲ 0.011	▲ 0.020	▲ 0.006	▲ 0.002	▲ 0.009	0.011	▲ 0.006	▲ 0.001	0.029
2023	▲ 0.014	▲ 0.011	▲ 0.023	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.010	0.007	▲ 0.006	0.001	0.031
2024	▲ 0.014	▲ 0.011	▲ 0.023	▲ 0.006	▲ 0.002	▲ 0.008	0.007	▲ 0.004	0.004	0.029

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2022	0.017	▲ 0.002	▲ 0.002	▲ 0.010	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.010	▲ 0.007	0.002	0.000
2023	0.018	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.011	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.012	▲ 0.007	0.000	▲ 0.000
2024	0.020	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.012	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.012	▲ 0.008	0.001	▲ 0.001

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理事業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2022	▲ 0.003	▲ 0.004	▲ 0.003	0.037	0.018	▲ 0.019	▲ 0.003	0.006	0.003	0.002
2023	▲ 0.004	▲ 0.004	▲ 0.005	0.037	0.021	▲ 0.022	▲ 0.004	0.006	0.004	0.002
2024	▲ 0.004	▲ 0.003	▲ 0.005	0.040	0.021	▲ 0.023	▲ 0.001	0.005	0.004	0.002

年度	41その他のサービス業	42公務
2022	▲ 0.009	▲ 0.008
2023	▲ 0.009	▲ 0.001
2024	▲ 0.009	▲ 0.000



※赤字表記: 年度ごとの地域差指数が高い上位3業態

<代謝のリスク保有率>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2022	0.016	0.001	0.078	0.023	0.017	0.018	0.001	▲ 0.002	0.002	▲ 0.001
2023	0.015	0.001	0.078	0.019	0.016	0.016	0.002	▲ 0.002	0.002	▲ 0.000
2024	0.017	0.001	0.078	0.023	0.018	0.020	0.002	▲ 0.002	0.001	▲ 0.000

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2022	▲ 0.011	▲ 0.008	▲ 0.016	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.005	0.027	0.005	0.010	0.034
2023	▲ 0.013	▲ 0.008	▲ 0.020	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.006	0.021	0.003	0.010	0.036
2024	▲ 0.012	▲ 0.008	▲ 0.017	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.005	0.022	0.002	0.011	0.039

年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2022	0.025	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.010	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.005	0.002	0.002
2023	0.025	▲ 0.002	▲ 0.000	▲ 0.010	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.006	▲ 0.006	0.002	0.001
2024	0.027	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.011	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.007	0.003	▲ 0.001

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2022	▲ 0.003	▲ 0.003	0.002	0.047	0.020	▲ 0.017	0.001	0.013	0.006	0.003
2023	▲ 0.004	▲ 0.002	▲ 0.001	0.043	0.022	▲ 0.020	▲ 0.001	0.011	0.005	0.003
2024	▲ 0.004	▲ 0.002	▲ 0.002	0.048	0.025	▲ 0.022	0.004	0.009	0.006	0.004

年度	41その他のサービス業	42公務
2022	▲ 0.008	▲ 0.007
2023	▲ 0.009	0.000
2024	▲ 0.009	▲ 0.000

※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

※3 任意継続のものと及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数－1の寄与度の合計は血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数－1に一致しない場合がある。



社会保険・社会福祉・介護事業

飲食料品以外の小売業

総合工事業

【参考】健診結果及び問診結果の基準

項目	基準
①メタボリックシンドロームのリスク保有率	・③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当 ・分母は集計対象データ総数
②メタボリックリスク予備群の割合	・③かつ④～⑥のうち1項目に該当 ・分母は集計対象データ総数
③腹囲のリスク保有率	・内臓脂肪面積が100cm ² 以上 ・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上 ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数
④血圧のリスク保有率	・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数
⑤脂質のリスク保有率	・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数
⑥代謝のリスク保有率	・空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数
⑦喫煙者の割合	・分子は「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「はい」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑧BMIのリスク保有率	・BMI25以上 ・分母はBMIの値のあるデータの総数
⑨中性脂肪のリスク保有率	・中性脂肪150mg/dl以上 ・分母は中性脂肪の検査値のあるデータの総数

項目	基準
⑩HDLコレステロールのリスク保有率	・HDLコレステロール40mg/dl未満 ・分母はHDLコレステロールの検査値のあるデータの総数
⑪体重10kg以上増加者の割合	・分子は「20歳の時の体重から10kg以上増加している」に「はい」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑫運動習慣要改善者の割合	・分子は「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している」、「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」、「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」に2問以上「いいえ」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑬食事習慣要改善者の割合	・分子は「人と比較して食べる速度が速い」に「速い」と回答、「就寝前の2時間以内に夕食をとること1が週に3回以上ある」に「はい」と回答、「朝食を抜くことが週に3回以上ある」に「はい」と回答、「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある」に「はい」と回答、これらのうち2項目以上に該当する者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑭飲酒習慣要改善者の割合	・「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「毎日」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「2～3号未満」「3号以上」と回答、もしくは「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「時々」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「3合以上」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	・分子は「睡眠で休養が十分とれている」に「いいえ」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数

4. 現状評価シートからの課題等

	課題
1	◎日本一の短命県、平均寿命が男女ともに最下位、がん等生活習慣病による死亡率が高い ・生活習慣が悪い（肥満率、喫煙率が高い、食塩摂取量、飲酒習慣要改善者が多い、運動量が少ない） ・生活習慣病による医療費の割合が高い ・がん検診の受診率と精密検査の受診率は全国平均よりも高いかほぼ同等の一方で、肺がん・胃がん・大腸がん・乳がんの死亡率は全国最下位の傾向
2	◎40～50歳代いわゆる働き盛り世代の死亡率が高い ・男女とも血圧、代謝のリスク保有割合および喫煙者割合が高い ・業態別では総合工事業、飲食料品以外の小売業、社会保険・社会福祉・介護事業の血圧、代謝のリスク保有割合が高い
3	◎循環器系疾患による入院外医療費が全国平均を大きく上回る ・血圧、代謝等のリスク保有割合が全国平均を上回る ・業態別では総合工事業、飲食料品以外の小売業、社会保険・社会福祉・介護事業の血圧、代謝リスクの保有割合が全国平均を上回り、同業種においては入院外医療費も全国平均を上回っている ・その他運輸業、道路貨物運送業の血圧、代謝のリスク保有割合が全国平均と同程度であるが県内において継続して高い業態である
4	◎喫煙者の割合が全国平均を上回る ・男女とも喫煙者割合が高い ・業態別では工事業（総合・識別・設備を含む）、道路貨物運送業の喫煙者割合が高い
5	◎飲酒習慣要改善者の割合が全国平均を大きく上回る ・男女とも飲酒習慣要改善者割合が高い ・特に男性は、毎日飲酒する者が多い

4. 現状評価シートからの課題等

① 課題	◎日本一の短命県、平均寿命が男女ともに最下位、がん等生活習慣病による死亡率が高い ・生活習慣が悪い（肥満率、喫煙率が高い、食塩摂取量、飲酒習慣要改善者が多い、運動量が少ない） ・生活習慣病による医療費の割合が高い ・がん検診の受診率と精密検査の受診率は全国平均よりも高いかほぼ同等の一方で、肺がん・胃がん・大腸がん・乳がんの死亡率は全国最下位の傾向
② これまでの取組と評価	◎これまでの取組と結果 ・青森県と連携し、県で作成したがん検診受診チラシを生活習慣病予防健診案内リーフレットに同封し、検診受診を促した ◎取組に関する評価 ・生活習慣病予防健診の受診者数 【受診者数 R3:108,503人→R4:110,831人→R5:110,478人→R6:113,055人】 ・乳がん検診の受診者数 【受診者数 R3:7,397人→R4:7,421人→R5:7,959人→R6:8,746人】 ・子宮頸がん検診の受診者数 【受診者数 R3:7,156人→R4:7,249人→R5:7,810人→R6:8,614人】 ・子宮頸がん単独検診の受診者数 【受診者数 R3:1,467人→R4:1,272人→R5:1,457人→R6:1,488人】
③ 今後の重点施策とその検証方法	◎生活習慣病予防健診受診率の向上と精密検査対象者への受診勧奨 ・前年度に引き続き、県作成のがん検診推進チラシを生活習慣病予防健診案内リーフレットに同封し、検診受診を促す ・大腸免疫便潜血検査で要精密検査・要治療と判定された方に健診結果に受診勧奨チラシを同封する ◎検証方法 ・tableauにより、生活習慣病予防健診、がん検診の受診者数を経年比較し、効果検証する ・レセプトにて医療機関への受診状況を確認し、効果検証する ・厚労省等の統計情報から死亡率を経年比較し、効果検証する

4. 現状評価シートからの課題等

① 課題	◎循環器系疾患による入院外医療費が全国平均を大きく上回る ・ 血圧、代謝等のリスク保有割合が全国平均を上回る ・ 業態別では総合工事業、飲食料品以外の小売業、社会保険・社会福祉・介護事業の血圧、代謝リスクの保有割合が全国平均を上回り、同業種においては入院外医療費も全国平均を上回っている ・ その他運輸業、道路貨物運送業の血圧、代謝のリスク保有割合が全国平均と同程度であるが県内において継続して高い業態である
② これまでの取組と評価	◎これまでの取組と結果 ・ 健康宣言の標準化を進める。【宣言事業所数 R6:1,979社のうち標準化切替済みの事業所数1,396社】 ・ 健康宣言登録事業所のうち特定保健指導実施率の低い事業所に対し、幹部職員の訪問による特定保健指導の利用勧奨を実施 ・ 生活習慣病の発症リスクが高い者（11,580人）に対し、オーダーメイド型のお知らせを発送し、生活習慣の改善方法をあわせて周知し、生活習慣改善や特定保健指導の利用、医療機関への受診等の行動変容を促す ◎取組に関する評価 ・ Ⅲ度高血圧、空腹時血糖160mg/dl（HbA1c8.4%）以上の未治療者は以下のとおり 【Ⅲ度高血圧未治療者割合 R1:0.87%→R2:0.84%→R3:0.78%→R4:0.86%→R5:0.82%】 【空腹時血糖160mg/dl（HbA1c8.4%）以上の未治療者割合 R1:0.82%→R2:0.79%→R3:0.73%→R4:0.77%→R5:0.71%】 ・ しかしながら、血圧、代謝のリスク保有割合は全国と比べ依然として高く、特定保健指導の利用を更に促すほか、業態別に特化した取組をする等、効率的な対策が必要 ・ また、受診勧奨通知については、アンケートを実施し、91人から回答。生活習慣を見直すきっかけとなったと回答した方が92.3%、生活習慣病のリスクを理解できた97.6%と行動変容に一定の効果があったと考える
③ 今後の重点施策とその検証方法	◎特定保健指導の更なる利用勧奨 ・ 健康宣言登録事業所のうち特定保健指導実施率の低い事業所に対し、幹部職員の訪問による特定保健指導の利用勧奨を実施する ・ 生活習慣病の発症リスクが高い者や要治療予備群等に対し、生活習慣の改善方法等を周知するとともに、特定保健指導の利用、医療機関への受診等の行動変容を促す ・ 高血圧対策として、若年層（35歳～44歳）及びリスク保有割合の高い地域を対象に運動や食事改善の提案等アプローチを行う ◎検証方法 ・ 訪問後の事業所における特定保健指導実施率の変化、その後の健診結果の比較により、効果を検証する ・ 通知後にアンケートを行い、生活習慣改善及び特定保健指導の利用や医療機関への受診等の行動変容に繋がったか効果を検証する ・ 令和7年度の40歳の特定保健指導該当率と比較検証する

4. 現状評価シートからの課題等

① 課題	◎喫煙者の割合が全国平均を上回る ・男女とも喫煙者割合が高い（男性：全国ワースト1位、女性：全国ワースト2位） ・業態別では工事業（総合・識別・設備を含む）、道路貨物運送業の喫煙者割合が高い
② これまでの取組と評価	◎これまでの取組と結果（令和6年度の重点施策） ・健康宣言事業所で喫煙対策を目標に掲げる事業所のうち、建設業関係の201事業所に6回、情報提供などの禁煙支援を行い、事後に事業所・従業員を対象にアンケートを実施 ・Web広告等を通じて、若年期から高齢期までの加入者に医療費適正化や喫煙対策を含む生活習慣改善の呼び掛け等を行うポピュレーションアプローチを実施 ◎取組に関する評価 ・喫煙対策事業のアンケート結果より、情報提供物への興味や喫煙者の行動変容等に一定の効果が見られた。 ・Web広告へのアンケート結果から、サイトを見て「健診結果の傾向について理解できた」が75.2%、「とても面白かった」が78.0%と意識改善の効果が一定程度あったと考える。 ・喫煙者割合の低下の動きは鈍かったが、6年度の喫煙率は前年度に比べ男性－1.2%、女性－0.7%となり、全国ワースト順位に変動はないが改善傾向がみられた。 【喫煙率 R2:男性47.9%女性21.1%→R3:男性47.6%女性20.9%→R4:男性47.7%女性21.0%→R5:男性47.5%女性20.9%→R6:男性46.3%女性20.2%】
③ 今後の重点施策とその検証方法	◎喫煙対策の強化および若年層も含めた加入者に対するヘルスリテラシーの向上 ・令和7年度に実施している運輸業への取り組み結果を踏まえ、ブラッシュアップした形で健康宣言事業所を中心とした横展開を行う ・中学生以下の被扶養者を持つ喫煙習慣のある被保険者に対し、個別の情報提供を行う（禁煙勧奨） ・令和6年度に引き続き、県内の居住地域別の健康課題に合わせた広報をWeb広告等で実施し、加入者の健康意識の向上及び行動変容を促し、生活習慣病のリスク保有率の軽減につなげる ◎検証方法 ・喫煙対策事業後にアンケートを実施し、健康意識の向上及び行動変容に繋がったか効果を検証する ・健診結果より、喫煙習慣のある被保険者数を経年比較し、効果を検証する ・Web広告後にアンケートを行い、健康意識の向上及び行動変容に繋がったか効果を検証する

【参考】第3期青森支部データヘルス計画（概要）

健康課題のイメージと目標の設定

高い
喫煙率

高い
肥満率

多い
食塩摂取

多量飲酒

高い喫煙率、高血圧・糖尿病の受診率

- ・男女とも喫煙者の割合が高い。
- ・喫煙がリスクの1つとなる高血圧症の入院外受診率と、糖尿病の入院外受診率が全国平均より突出して高い。

高い血圧リスク保有率

- ・男女とも血圧リスク保有率がほぼ全国トップ。
- ・高血圧症にかかる入院外受診率と入院外1人当たり医療費が全国平均より突出して高い。

○ 高い代謝リスク保有率

- ・男女とも代謝リスク保有率が全国35位。
- ・糖尿病にかかる入院外受診率と、医療費が全国平均より突出して高い。

がん
脳血管疾患
虚血性心疾患
糖尿病合併症
COPD

生活習慣病の重症化

医療費の伸び率の増加

生活の質の低下

短命県、働き盛り
世代の死亡率が
高い

データヘルス
計画

6年後に達成する目標

Ⅲ度高血圧(180/110mmHg以上)の割合を0.12%減少させる。
(R3_健診受診者の0.78%該当)



対策を進めるべき重大な疾患(10年以上経過後に達するゴール)

脳血管疾患の入院受診率を全国平均に向けて引き下げる。